

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校名	〈 小 2 7 〉	いわき市立 白水小学校
＜実施日＞	平成 28年	6月 24日 (金)
＜実践教科等＞	1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()	
＜実践内容＞	「放射能について知ろう」第2・4学年（変則複式での指導） 1 原子力発電所の事故について知る。 ・地震と津波によって、原子炉が爆発して放射性物質がもれた。 ・避難指示区域の住民が避難した。 2 放射能のイメージを発表する。 【児童の反応】 ・こわい ・病気になる 3 身の回りの放射線について知る。 「放射線について考えてみよう」放射線等に関する副読本作成委員会 「小学校のための放射線副読本」文部科学省を活用する。 【放射線について分かったこと】 ・体に悪いだけでなく、役に立つこともある。 ・身近に放射線があることが分かった。 ・目に見えない物を見えるようにするのはすごい。 4 放射線が人体に与える影響について知る。 【放射線について分かったこと】 ・やっぱり放射線は怖い。 ・多いと怖い。 5 放射線から身を守る方法を知る。 ・学校の校庭の除染について話す。 【児童の反応】 ・放射線は、近づかないでさえぎることが大切。 ・あまり浴びないようにする。 ・放射線からにげる。 6 放射線量や除染について知る。 ・本校の校庭の測定値、プール周辺の測定値を知る。 【児童の反応】 ・校庭が、除染されて立ち入り禁止がなくなってよかった。	
＜成果＞	○ 資料を活用することで、放射線についてのイメージや理解を確認したりしたことができた。放射線が悪いものとしてしか思っていなかったが、実は役に立っていることもないと分かり、興味を持って学習することができた。 ○ 昨年度、本校校庭で除染が行われたこともあり、放射線から身を守るために自分たちができることを真剣に考えていた。	
＜課題＞	● 昨年度放射線について学んでいるにもかかわらず、忘れてることが多い。原発事故についてもである。繰り返し指導していくことで理解を深めていきたい。	
資料作成担当者職（教諭）氏名（ 松島 真紀 ）	学校電話番号（26-2863）	

【 資料作成上の注意 】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
（送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp）